

第 17 回議会報告会 報告書

地 域 名	養父地域		
年 月 日	平成 30 年 4 月 24 日 (火)	会 場 名	ふれあいセンターやぶ
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 05 分
参 加 数	男性 25 人	女性 2 人	合計 27 人
班 長	田路之雄	司 会 者	田路之雄
報 告 者	田村和也	書 記	西谷昭徳
班 員 名	田路之雄、田村和也、西谷昭徳、深澤 巧		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 文化会館の建設はいつごろから始まるのか。場所がなぜグンゼ跡地になったのか。八鹿グンゼ跡地での建設は市民の利便性や平等性が全く考えられていない。また、2年後開催のオリンピックの影響で資材高騰が見込まれる。建設を延期してもよいのではないか。八鹿に建設ありき、の考えが強い。旧町の公民館での活動を保証すべきである。</p> <p>② 長期欠席している2名の議員についてどう考えているか。</p> <p>③ 行革でフルーツの里の廃止が提案されているが、根拠は何か。</p> <p>④ 空き家の危険家屋について、条例化されているが具体的な対策は進むのか。</p>	<p>① 構想策定委員会で最終的に3カ所の中から八鹿グンゼ跡地が候補地として選定された。完成は、平成32年度末の予定で、財源を合併特例債としている。合併特例債の10年が5カ年延長され何とか期間内に活用して建設を考えている。</p> <p>② 治療に専念している。9月及び12月の定例会を目途に復帰の意向を聞いている。報酬等についての特例措置の必要性を今後検討していきたい。</p> <p>③ 運営上の赤字や施設の存在意義の変化が問題化されている。当局と組合員との間で今後の運営について協議がなされる。</p> <p>④ 空き家の現地実態調査も終わり、特定空き家の候補も指定されている。今後、代執行について慎重に対処されることになる。</p>	

市 民		対 応
意見交換会 での質疑	① 一般質問で横文字のバックキャストを使った質問があるが理解がし難い。高齢者には意味がわからない。	① 市長の施政方針演説で使った横文字で、未来のある地点に目標を設定して、そこから振り返って現在すべきことを考える方法の意味である。
その他 (提言など)	<p>① 市民の安心・安全に、緊急車両の進入のできる道路が必要不可欠である。地域には幅員の狭い市道があり、整備が必要である。</p> <p>② 議員の一般質問を聞いても淡泊で迫力が足りない。掘り下げて当局に追求する深い質問をしてほしい。</p> <p>③ 藪崎区の避難場所が広谷小学校に変更になった。距離があり大変である。安心できる避難所がないのが多くの地区の現状である。</p> <p>④ 近年、市役所の人事異動が激しくて担当者がコロコロ変わる。要望事項の引継ぎができていない。職員が現場を見に来ることがなくなっている。住民との一体感が欠けている。</p>	
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 30 年 4 月 24 日

報告者 3 班 班長 田路 之雄

